

日本電気株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、日本電気株式会社（以下「本法人」）が発行する第 63 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023 年 7 月 11 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、SPT1 を 2031 年度における Scope1 及び Scope2 の CO2 排出量を 55% 削減（2020 年度比）、SPT2 を CDP 気候変動の最終スコア「A」の維持とし、いずれも未達の場合、社債発行額の 0.1%相当額の排出権を購入、または、社債発行額の 0.1%相当額を、環境保全活動を目的とする組織に寄付します。SPT1 が未達の場合は、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 7 を、SPT2 が未達の場合は、社債発行額の 0.1%相当額の 10 分の 3 の排出権を購入します。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定しており、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」及び環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン（2022 年版）」への適合性を確認したセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上